

## <案内状>

# 原子力イノベーションセミナー トリウム熔融塩炉が日本の電力問題を解決します！

日時：2025年8月21日(木)14時00分～17時00分（受付：13時30分～）

場所：衆議院第一議員会館 大会議室（東京都千代田区永田町2丁目2-1）

主催：原子力革新研究会 会長 原田義昭（元環境大臣）

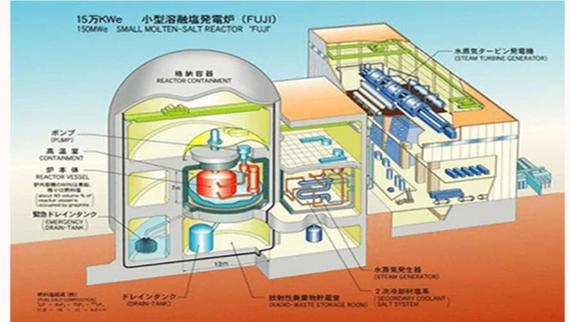
共催：株式会社トリウムテックソリューション、  
株式会社イー・アンド・イー

後援：NPO トリウム熔融塩国際フォーラム

定員：200名

参加費：2,000円（資料代、学生無料）

アクセス：東京メトロ、国会議事堂前駅（4番出口徒歩1分）、溜池山王駅（5番出口徒歩7分）、永田町駅（1番出口徒歩10分）



## 1. 趣旨

日本に今必要なのは、産業、特に原子力分野でのイノベーションです。エネルギー資源に乏しい日本では、原子力が重要なエネルギー源であり、データセンター需要の増大もあって再評価の機運が高まっています。しかし再稼働中心の方針では将来は明るくありません。原子力にも革新が必要です。

我々は二つの提案をします。一つはウラン固体燃料炉からトリウム液体燃料炉への転換。もう一つは、使用済核燃料の処理を再処理から地中埋設に切り替えることです。

本講演ではトリウム熔融塩炉と地中埋設の提案を説明し、皆様の活発なご議論を期待しています。

## 2. 講演会内容

- 挨拶 原子力革新研究会 会長 原田義昭
- トリウム熔融塩炉とはどんな原子炉か？ 株式会社トリウムテックソリューション 取締役副社長 古川和朗
- 熔融塩炉開発の行くべき道と私たちの活動状況 - 日本、アメリカ、中国、ヨーロッパ - NPOトリウム熔融塩国際フォーラム 理事長 木下幹康
- 日本の開発戦略の提案 株式会社トリウムテックソリューション 代表取締役社長 古川雅章
- 核ゴミに大深度完全密閉方式を 原子力革新研究会 会長 原田義昭
- 質疑応答

## 3. 事前参加登録のお願い

参加に際しては、①下記の参加申込書に記載によるFAX送付、②メールでの申し込み（以下の記載事項を記入しメールでご返信（[kakusin2025@gmail.com](mailto:kakusin2025@gmail.com)））、または③QRコードから申し込みフォームで申し込みください。なお、資料代は当日受付にてお支払いとなります。



## 4. 連絡先（お問い合わせ）

原子力革新研究会事務局 電子メール [kakusin2025@gmail.com](mailto:kakusin2025@gmail.com)、FAX 03-6263-0568

※ご登録いただいた個人情報は、当研究会、共催企業、及び事務局で適切に管理し、各社が提供するサービスおよびこれに関連するイベントなどのご案内目的で利用いたします。

----- FAXでのお申し込みの場合は、以下をご記入の上、送付ください。-----

FAX申込書（FAX番号03-6263-0568）

事業所名		
部署名・役職	(部署名)	(役職)
氏名		
連絡先	(メール)	(電話)